

「次世代の仲間」を確信！若田光一宇宙飛行士が特別授業

JAXA（宇宙航空研究開発機構）の若田光一宇宙飛行士が、6月10日（土）にワシントン日本語学校を訪れ、小学部4年生から高等部2年生の生徒に向けて特別授業を行いました。若田さんは日本人最多となる5度目の宇宙滞在を終えて今年3月に地球に帰還したばかり。帰還後に日米含め学校でお話しされるのは初めてで、この特別授業は本校の創立65周年を記念して実現しました。

若田さんは、有人宇宙船クルードラゴンの打ち上げから国際宇宙ステーション（ISS）で行った様々な実験、無重力空間での生活の様子まで映像を交えながら詳しく説明して



チームワークや国際協力の大切さなど
宇宙活動から得た経験を語る若田さん

やプールの中で船外活動する訓練、宇宙で行う実験のための訓練など、世界各国に行って色々な訓練をした。

Q.人類は月に住めるようになる？ A.月に住めるようになると思うし、その次は



記念品のお礼に三原校長から
65周年記念Tシャツをプレゼント

火星というふうに人類のフロンティアを切り拓いていかないといけない。そのために大切なのが持続性と国際協力。アルテミス計画の下、日本がほかの国と協力することで月での持続的な活動に必要な有人と圧ローバなどを実現できる。日本人が月に立つ日を夢見ている。

Q.宇宙空間でトイレはどう使う？ A.大きな掃除機に座って用を足すイメージ。宇宙ではトイレの技術は重要。尿を飲み水まで再生する実験も行った。世界でも日本の技術は優れていて、月探査でも大切な役割を果たせると思う。

くださいました。そのほか、宇宙滞在時に使った日本のメーカーの靴下やシートタイプのシャンプーなどを紹介。カレーライスなど日本食は宇宙でも人気だったそうです。若田さんが浮遊するピザをキャッチしようとしたり、野球のボールを投げて打って捕ってと「三刀流」で楽しんだりする映像を見ると、生徒からは大きな笑いも起きていました。質疑応答では元気よく手を挙げる生徒が続出。様々な質問の中から一部をご紹介します。

Q.宇宙飛行士になるためにどんな訓練をした？ A.宇宙船の操作の訓練



生徒が質問するたびに若田さんは
「いい質問だね!」と笑顔で回答



特別授業を行う
若田光一宇宙飛行士



うちゅう ところ もくひょう めいかく も お べんきょう
宇宙はすばらしい所です。目標を明確に持って、それに向かって勉強して、
ともだち つく もくひょう ゆめ じつげん
友達をたくさん作って、みなさんの目標や夢を実現してください。